

No. 155

12月定例会 平成27年2月1日

発行：岐阜県池田町議会

しげだ

Ikeda
2015

議会

だより



Contents

- ★12月定例会
- ★質疑あれこれ
- ★一般質問
- ★視察研修
- ★きらり・編集後記

2~3P

4~5P

6~7P

8~9P

10P

公民館文化祭

養基公民館文化祭
養基保育園年長児の
よさこい踊り



西公民館文化祭

西保育園児

みどり組

ドラム演奏発表会

昭和五十七年三月
温知西公民館

第4回定例会

平成26年度一般会計 歳入・歳出予算総額 83億8千14万円

12月2日
▼
12月9日

〈歳入歳出予算に4千96万円を補正追加〉

歳入

(単位千円)

科目	補正額
地方特例交付金	1,909
地方交付税	23,665
分担金及負担金	△369
国庫支出金	17,571
県支出金	54,618
寄附金	600
諸収入	417
町債	△48,813
歳入合計	49,598

歳出

(単位千円)

科目	補正額
議会費	855
総務費	17,525
民生費	37,833
衛生費	11,434
農林水産業費	47,077
土木費	△741
教育費	2,388
公債費	△5,919
予備費	△60,854
歳出合計	49,598

歳入の主なもの(補正分)

(単位千円)

・がんばる地域交付金	8,264
・池田公園多目的広場整備補助金	8,500
・いこいの森整備用地購入事業債	△22,300
・池田小改修事業債	△2,400

歳出の主なもの(補正分)

(単位千円)

・保育園運営費 (子育て世帯給付金を含む)	28,047
・高度処理型合併浄化槽設置 補助金(9基分)	4,332
・道路新設改良費	18,643

人事案件

人権擁護委員

本郷1592番地の6 稲葉政雄（再）
草深761番地 松原孝一（再）

町条例改正の一部改正

- ★ 議会議員の議員報酬・期末手当に関する条例の一部改正
- ★ 常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正
- ★ 職員の給与に関する条例の一部改正（職務の級別に依る）
- ★ 福祉医療費助成に関する条例の一部改正
- ★ 国民健康保険条例の一部改正
- ★ 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

行政手続条例の制定

国民救済手段の充実・拡大を図るための手続を整備

- ・ 処分等の求め
（書面で具体的な事実を摘示して一定の処分又は行政指導を求める制度の新設）
- ・ 行政指導の中止等の求め
（違法な行政指導の中止等を求める制度の新設）

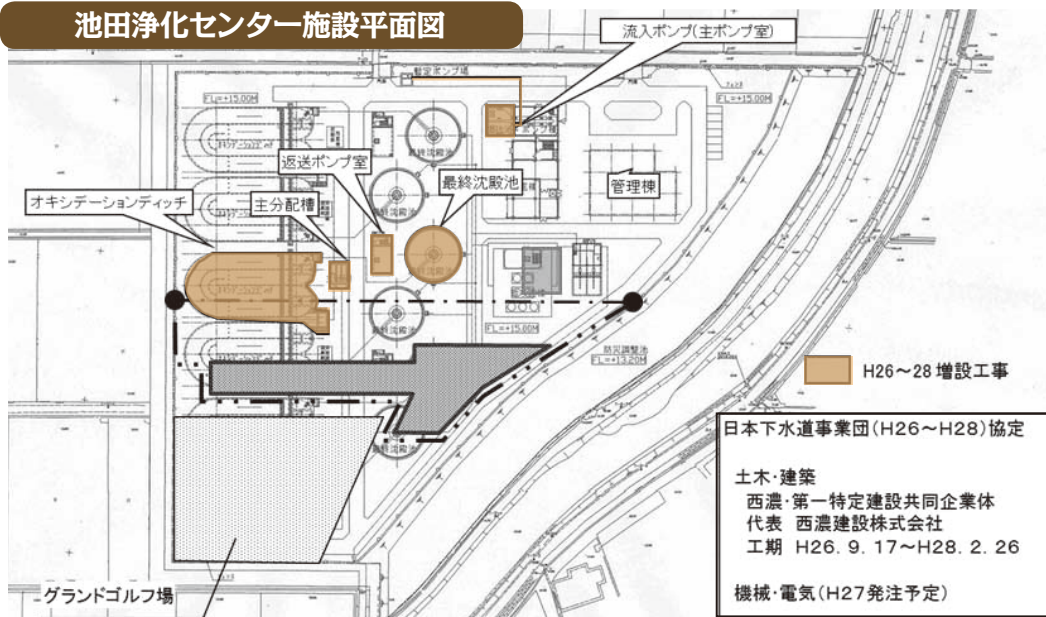
町建設工事委託に関する基本協定の変更（平成26年度～28年度）

公共下水道池田浄化センター建設工事

（オキシデーションディッチ、最終沈殿池増設等）

建設機資材や、人件費の高騰に依る契約金額の変更 変更後9億3,200万円とする（6千万円増額）

池田浄化センター施設平面図



質疑 あれこれ

12月議会に上程された議案の中から
主な質疑を要約してお知らせします。

総務建設産業委員会

問 大津谷周辺環境整備事業

の内容は。

答 大津谷左岸の桜山館から東へ道路の北側に、ロウバイ200本を植栽する計画で、許可等が必要であることから、上部機関や関係者と協議する中で進めていきたい。

問 大津谷登山道整備工事の

進捗状況は。

答 今年度と来年度の2カ年で整備するもので、今年度は、関係者と協議して山頂付近から施工し、既存作業道なども補修し登山道として活用するなど、現状の自然を活かした工法で整備したい。



大津谷左岸にロウバイ200本を植栽

問 鳥獣被害防止柵設置の効果と今後の対応は。

答 防止柵設置後、地元の方より全体的な頭数は減少したとのお話は聞いているが、今後とも個体数を減らす方策を、防止柵のメンテナンスも含め関係者と協議しながら検討していきたい。



鳥獣被害防止柵を山麓一帯に設置（願成寺地内）

問 林道池田明神線の今後の整備は。

答 揖斐川町への通行は災害復旧もあり不可能と考えるが、垂井町への通り抜けについては、垂井町側と安全な林道維持に連携して取り組んでいきたい。

問 揖斐川町への通行は災害復旧もあり不可能と考えるが、垂井町への通り抜けについては、垂井町側と安全な林道維持に連携して取り組んでいきたい。



藤代地内でイノシシ捕獲

問 高度処理型合併浄化槽設置整備事業補助金について、交付状況は。

答 今年度当初予算で20基分の予算化をしたが、今後9基設置予定で、今年度トータルとしては29基となる。

民生文教委員会

問 池田町国民健康保険条例の一部を改正する条例について、出産育児一時金の改正内容は。

答 本体部分が分娩費で、加算部分が保険料の2本立てで、総額42万円に変更はないが、出産費用と医療保障にかかる金額の内訳を変更するもの。なお一時金は関係機関に直接支払われる。

問 池田町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について、この条例は、ゴミ収集所からの持ち去り禁止の内容であるが、以前からボランティア団体がアルミ缶などを収集している場合への対応は。

答 町長が認める団体は収集



毎月第1水曜日は金属類を収集

できるよう規則の中で定めている。無断又は無許可で持ち去る人との区別をするため、腕章等については、今後検討したい。

問 障害児保育対策費補助金が減額となった理由は。

答 保育士給与の補助単価が変更となったため。



昭和51年建設の片山保育園

問 片山保育園保育室・倉庫改修工事がなされるが、

答 今後の構想は。

答 第五次総合計画の後期で、建替の計画をしているが、地域の実情を十分に考慮し関係者と連携をとり検討していきたい。

(注) 第五次総合計画(平成22年度～平成31年度)

問 南部公園藤棚の修繕内容は。

答 公園内東側の藤棚は、幅4メートル×長さ7メートルで床にコンクリートを打設する。なお西側の藤については、昨年設置したばかりなので、今後、藤の成長に合わせ検討していきたい。

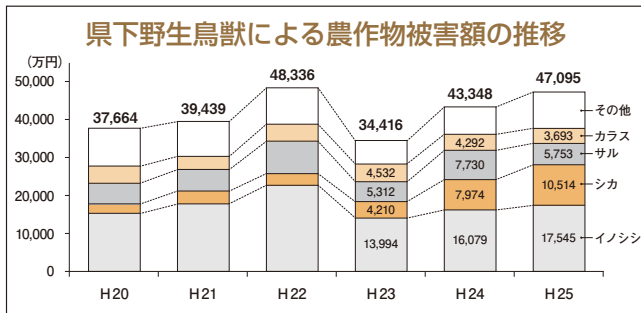


鳥獣被害の現状と対策について

イノシシやニホンジカなどの特定の鳥獣による生活環境や農林水産業等への被害は全国的に深刻化しており池田町でも例外ではない。

被害額は23年度で約326万円、24年度が約232万円、25年度が約255万円と報告されているが、報告されない小規模のものを合わせれば、被害額は計り知れない。一方、農作物を鳥獣から守る鳥獣防護柵設置補助金は防護柵等の購入費の3分の1補助、上限額5万円となっており、補助率と限度額の低さが被害額に影響しているとも考える。補助率と限度額の引き上げは検討できないか？

産業課長
現在の限度額は過去の申請実績から妥当であり、補助率に関して他の補助事業とのバランスを考慮すると妥当だと考える。



これまで有害鳥獣の被害を受けない為に実施された講習会などソフト面での対策の実績は。

産業課長
農業委員会や各協議会による先進地の視察、防護柵設置講習会を実施してきた。今後も国・県の研修会等を積極的に活用していく。

町長
岐阜県のHPによると鳥獣被害防止特措法に基づく「鳥獣被害防止計画」を作成している市町村に池田町はないがなぜか？

町長
防止計画は、平成22年度に策定し25年度には更新している。県及び町のHPでも閲覧できるように対応したい。

池田町の有害鳥獣による農作物被害額

平成23年度	3,261千円
平成24年度	2,315千円
平成25年度	2,545千円

※農家から報告があった農作物被害の推計額

猟友会の会員数は激減し高齢化している。平成17年度26名いた会員も、平成26年度では、会員数はわずか15名となっている。

「岐阜県野生生物保護管理事業実施要領」にある有害鳥獣捕獲等に従事する市町村職員の育成事業があり、職員に10/10補助で一人50万円まで補助する事業を活用し積極的に人材育成をお願いしたいが。

町長

産業課の職員を中心に9名が罫の捕獲免許を取得している。職員の狩猟免許に関して、町ではなく県として育成していたいただきたいと考える。また、揖斐郡の猟友会員が88名みえますので、郡内で連携し応援協定を進めたいと申し入れをした。

猟友会の会員数の推移

平成17年度	26人
平成20年度	18人
平成23年度	14人
平成26年度	15人

(揖斐郡猟友会より)

猟友会への手当：有害鳥獣捕獲報奨金として年額36万円



観光開発に向けて組織体制の充実を



▲スポーツゾーン・交流の森・地域ゾーン
(霞間ヶ溪公園)

9月議会の一般質問で、「観光開発を問う」と題して質問しました。町長は答弁の中で、池田温泉と池田温泉道の駅、霞間ヶ溪公園、大津谷公園を三つのゾーンとして拠点を作り、花で結んでいくことが大切ではないか。拠点的、集中的に早実行動していくことが必要であろうと答弁を頂きました。

業務委託してある「池田山麓花街道構想」策定の計画も出てくる中で、計画を進めていく上でどのような考えのもとで、どんな体制を進めていくのか。どの場所でもどんな花を植栽し、年度別の計画を立て、どのセクションが主体性を持って計画立案していくのが重要である。観光

開発と言えば、産業課の分野と限定してしまいがちであるが、各課の枠を超えて、縦割りではなく各課が横断的な協力体制を作りあげていくことが大切である。

現在の産業課の職員は臨時職員を含めて8名で、商工観光係は2名の職員で仕事内容は多岐に亘り、商工観光係で観光開発に対処していくにはノルマ的に無理ではないか。

町を挙げて観光開発をしていく上で、商工観光係を将来的には観光課としていくことを視野に入れながら、現段階として観光開発室、あるいは観光開発準備室として独立した部署を作り取り組むべきではないか。



▲健康ゾーン・余暇の森
(池田温泉・池田温泉道の駅)

町長

観光事業については、大変重要な部分であり、国においても観光立国を進めているが、池田町も観光立町を進めていきたい。大きな事業を展開するときには、準備室を備えてやっていくとか、課に上げたり局にしたり体制をとりながら進めていく方法もあるが、池田町においては、200名足らずの限られた数の職員で運営している。どの部署においても人員不足の中でやっているのが実態である。新しい課を作っていくことは非常に難しい。政策推進に当たって現在では4つのプロジェクトチームを作っている。

今後もプロジェクトチームを作り、観光開発に向けての事業展開をしていくことも必要ではないかと思っている。



▶学習ゾーン・自然体験ゾーン
(大津谷公園)

池田町議会 議員研修実施

期日:平成26年10月30日(木)・31日(金)

長野県大町市 NPO地域づくり工房で「ミニ水力発電について」研修

NPO 地域づくり工房は、地域の環境や福祉、教育などの課題を、市民の学びあいを通じて地域の仕事として起こしていくことで、持続可能な地域社会の構築に寄与するため、2002年10月に発足。2005年度地球温暖化防止活動環境大臣賞。2013年度には「日本水大賞」「未来開拓賞」を受賞。

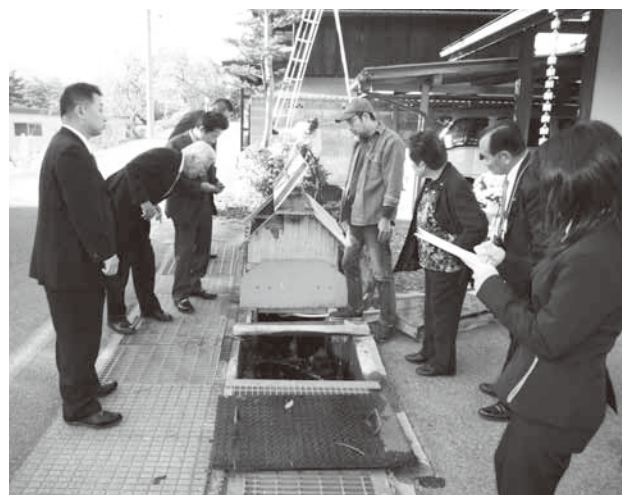
ミニ水力発電については、当町でも取り組んでいるが、山麓地域に設置されているため、落ち葉等の堆積で発電しなくなることも時折あり、更には大雨の際は土石流で発電機能が失われることもある。地域の方に大変なご苦勞をかけながらの運転がされているが、視察したところは、土地柄として清流で流量が安定的にあり、順調に発電がされていた。しかしながら設置までには、各種の法律や設置基準、水利権などの問題があるなか試行錯誤しながら大町市内に3箇所のミニ水力発電所が稼働している。



▲傘木代表による概要説明 (NPO 地域づくり工房)



▲野猿対策電気柵のためにベトナムから輸入した発電機



▲自作のらせん型水車で自宅の電力の4割を補給

長野県池田町議会で「議会改革の経緯について」研修

長野県池田町議会は、平成 23 年 6 月に議会改革等推進特別委員会を設置し、議会基本条例を単独で制定し、積極的に議会改革に取り組んでいる。執行部の政策の形成過程にも議会として関わりを持ち休日議会の開催、自治会協議会との意見交換会、議会ライブ中継など開かれた議会を目指し積極的に取り組まれていた。当町議会としても議会改革については以前より随時行っているが、長野県池田町議会の先進的な取り組みを参考としながら更に議会改革に取り組んで行きたい。



▲長野県池田町議会ででの研修の様子

揖斐郡三町議会議員研修会

期日:平成26年10月22日(水)

池田町宮地地内にある株式会社 UNIGEN 岐阜工場を揖斐郡三町議会議員で視察をしました。

岐阜工場は、2012 年 12 月に完成したバイオ医薬品商用生産施設で、世界最大級のバイオ医薬品生産施設です。

アピ（株）池田バイオ医薬品工場に隣接しており原液製造までを UNIGEN が行い、製剤化をアピが行うことによりスムーズな製造工程となっている。今後、赤ちゃんや妊婦、高齢者でも接種可能な「人にやさしい」次世代ワクチンの開発を行い、インフルエンザのほかノロ・ロタ感染胃腸炎のワクチンについても準備が進んでいる。



▲最先端のバイオ技術の説明を聞く 3 町の議員

きらり Kirari

今回は、東京で漫画家として活躍され、Uターンにて故郷である池田町に戻り、現在は大学で講義を行うかたわら、漫画も制作されている渡辺浩行さんにお聞きしました。



●漫画家になるきっかけは？

高校生の時投稿した漫画が集英社の編集者の目にとめて頂き、2年後に週刊少年ジャンプの新人漫画賞の手塚賞を受賞することができました。その後、村上もとか先生（「仁」など執筆作品多数）のアシスタントを経てジャンプでデビューすることができ、独立して連載させてもらうことができました。



数々の漫画作品を執筆

●現在までの漫画作品は？

当時は集英社から何冊かコミックスを出してもらいましたが、現在は大垣市の広報誌に毎年市政を紹介する漫画を描かせて頂いてます。他にも同市の史跡である大塚古墳のイラストや松尾芭蕉ほか賢人の漫画、本巣市の舟来山古墳のイラスト、輪之内町のキャラクターデザイン及びキャラ展開のお手伝い、安城市の新美南吉や都築弥厚の漫画など子ども達に地域の歴史を知ってもらうための作品やイラストなどを描かせて頂いてます。



執筆中の渡辺さん

●池田町の魅力の情報発信方法は？

私は実際に他の自治体と組んで漫画制作をしています。漫画を使って町おこしをしている例を他で見ているとそういった方法もありかな？と思います。池田町にしかない資源を掘り起こしてそれを漫画やアニメーションで発信することは国内のみならず海外の人にもアピールしやすいのではないかと思います。

●これからの活動は？

今後は現在勤めている大学の学生など人的パワーを生かして全国的に漫画やアニメーション、デジタル紙芝居などの制作による地域活性化及び女性の雇用創出に寄与できればと考えております。



大垣女子短期大学での授業風景

編集後記

新しい年を迎え、昨年末には衆議院選挙が行われ地域経済の再生が期待されています。

本町におきましては本年、池田・大野共同給食センター建設など大きな事業が予定されています。

町長の新年のあいさつの中にも掲げておられる、「安心」「便利」「元気」なまちづくりを議会としても、行政と共に取り組み、「住んでよかった」まちづくりを遂行していきたいと思えます。

今後とも、行政のチェック機関としての使命をはたし、町民の皆様を開かれた議会改革を更に進めてまいります。

（議会広報編集委員 渡辺幸一）

池田町議会は「政務活動費」はありません。